

## 編集後記

本誌をご覧のみなさまのなかには、小学校から大学に至る理系教育に一家言おもちの方が多くいらっしゃると思います。さらには、客観的な作文の技術を教えない我が国の国語教育、昨今の学生に見られるコピペの問題や、理系に進む女性を増やす方策について、ご意見をおもちの方もいらっしゃるかと思います。私も、研究者の端くれとして、少なからず意見をもつものでありますが、私を含め、理系に進んだ人間は、そもそも科学に興味があってこのような道を歩んできたわけでした(ちなみに、私は小学生の頃、某天文月刊誌を欠かさず購読していた天文少年でした…)、科学離れする子どもやおとなの気持ちというものは、なかなか計りしれません。そう考えると、“理科離れ”というのは、理系に進む者とそうでない者(というよりも、科学とそうでないものを見分けられる目をもつ人ともたない人)の乖離が進んでいる状態なのかもしれません。

昨今では、この“理科離れ”を少しでも解消すべく、各

大学、研究所、学会等で、様々な事業が行われていますが、私の勤める核融合科学研究所でも、その例に漏れず、いろいろな活動が展開されています。例えば、研究所一般公開(オープンキャンパス)、市民学術講演会、地域の小学校等での科学教室などが行われています。私も、そのいくつかに関わってきましたが、これらの活動に関わるなかで、ひとつ、気をつけていることがあります。それは、漢語やカタカナ語は避けて、できうる限り、やまとことば(いわゆる訓読み)で伝えることです。研究者は、知らず知らずのうちに、一般の方への説明でも専門用語を使いがちです。これをもう少しやわらかい言葉に変えることができれば、少しは垣根が下がるように思います。

このようなミクロな啓蒙活動が、少しでも多くの一般の方々(特に子どもたち)に、科学の不思議さに驚く心と、科学とそうでないものを見分けられる目をもたらすことができれば、さらには、昨今のマクロな潮流を少しでも変えることができれば、と願ってやみません。(長谷川裕記)

### プラズマ・核融合学会役員

会 長	二宮 博正	副 会 長	斧 高一(推薦委員長：研究所助成)	小森 彰夫(推薦委員長：学会賞)
常務理事	室賀 健夫(総務委員長)			
理 事	安藤 晃(企画委員長)	石原 修(研究部会連絡委員長)	上杉 喜彦(支部・地区研究連絡会委員長)	
	甲斐 俊也(財務委員長)	草間 義紀	佐々木浩一	
	清水 克祐	白神 宏之	白谷 正治(年会運営委員長)	
	豊田 浩孝	永津 雅章(広報委員長)	福山 淳	
	堀池 寛	米田 仁紀(編集委員長)		
監 事	市村 真	中澤 一郎		

### プラズマ・核融合学会誌編集委員会

編集委員長・チーフエディタ：米田仁紀(電通大) 副委員長：豊田浩孝(名大)

エディタ：安藤 晃(東北大)、坂本瑞樹(筑波大)、中村祐司(京大)、長友英夫(阪大)、小西哲之(京大)、佐々木浩一(北大)

編集委員：石田 學(JAXA)、井 通暁(東大)、岩本晃史(核融合研)、内田儀一郎(阪大)、浦野 創(原子力機構)、大場恭子(東工大)、落合謙太郎(原子力機構)、笠田竜太(京大)、梶村好宏(明石高専)、糟谷直宏(九大)、佐々木 明(原子力機構)、柴田裕実(阪大)、清水一男(静岡大)、城崎知至(広島大)、鈴木達也(長岡技科大)、高橋和生(京都工繊大)、徳沢季彦(核融合研)、成嶋吉朗(核融合研)、長谷川 純(東工大)、長谷川裕記(核融合研)、林 信哉(九大)、菱沼良光(核融合研)、古川 勝(鳥取大)、増井博一(九工大)、松浦寛人(大阪府立大)、籾内俊毅(阪大)、山田英明(産総研)

乱丁・落丁本は、ご面倒ですが学会編集委員会宛ご送付ください。送料当方負担にてお取り替えいたします。

### プラズマ・核融合学会誌第90巻第4号

編集・発行

〒464-0075 名古屋市千種区内山3丁目1-1 4階

印刷 株式会社荒川印刷

一般社団法人 プラズマ・核融合学会 編集委員会

2014年(平成26年)4月25日

Tel. 052-735-3185 Fax. 052-735-3485

E-mail: plasma@jspf.or.jp URL: http://www.jspf.or.jp/ 定価1,300円(税別)

本誌に掲載された寄稿等の著作権は一般社団法人プラズマ・核融合学会が所有しています。